

ビジネスQ&A

Business Q & A

Q：貴社の金融機関向け商品について教えてください。

A：



RV Doctorは、標準的残価を車種・グレード・走行距離などから算出しますが、PV Doctorは直近の入札会・オークションの売買データを基に現在の車両価値を算出します。車両価値の変動要素である車検残月や色を加味した価値を算出可能であり、金融機関にリース中途解約時の中途解約金算定の目安としてご活用いただいています。

また、リースアップ車両に対する「新車入替」「再リース」の判断ツールとしてご活用いただくだけでなく、時価リースバック時に車両価格を算出し下取り目安価格としてもご活用いただいています。

さらに、債権事故時に迅速に車両現在価格を算出でき、損失早期把握ツールとしても利用可能な商品です。



CAV Monitorはモニタリングに必要な大量の「クルマの価値」を一括で算出するツールです。過去に設定した残価と現在の車両価値を照らし、自社リース物件の「含み益」「含み損」を、一括で把握することが可能になります。

リースアップ車の再販市場は国内外のイベントと連動し大きく変動するため、安定的上昇相場において付けた高い残価設定は将来において高いリスクを含むことになります。ゆえに金融機関は月次・年次等での損益のモニタリングを行いますが、CAV Monitorは、車両価値算出の時間とコストの削減を提供します。

また、次期リースアップ予定の車両の現在価値を一括算出することにより、再販収益の予測や予算策定にご活用いただくことが可能です。

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063
(お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法 電子公告により当社ホームページ
(<https://www.slj.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

企業データ

Corporate Data

商 号 システム・ロケーション株式会社
英 文 社 名 System Location Co.,Ltd.
本 店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL <https://www.slj.jp/>
創 業 1992年7月1日
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード2480)
資 本 金 191,445,000円
発 行 済 株 式 総 数 3,570,000株
株 主 数 700名(2023年9月30日現在)
事 業 内 容 自動車関連事業者向け業務支援
グ ル ー プ 従 業 員 数 57名(2023年9月30日現在)

役 員 2023年9月30日現在

【取締役】

代表取締役会長 千村 岳彦
代表取締役社長 前田 格
常務取締役 内村 裕一
取 締 役 井坂 俊達
取 締 役 落合 綾子
取 締 役 (社外) 柳田 一男

【監査役】

常勤監査役(社外) 後藤 清文
監 査 役(社外) 山中 雅雄
監 査 役(社外) 中谷 仁亮

株主通信 第56期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～9月30日、以下「当期」）における当社関連市場である国内自動車市場は、半導体や部品不足の緩和により自動車メーカーの生産が回復傾向であることから、第1四半期と同様に自動車生産台数は前年同期に対し増産となりました。国内における新車販売台数（乗用車）は前年同期比22.7%増と回復し、所謂“コロナ禍”前の2019年の同期間販売台数と比較した場合、12.6%減の水準まで戻りました。中古車登録台数（乗用車）は同2.1%増となり、第1四半期と同様に昨年来続いていた商品不足の状況が緩和傾向となり、単価も落ち着いた市場となりました。

このような社会環境の中、当社グループにおいては、前期に引き続き自動車販売事業者、自動車関連金融事業者など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、大規模法人向けSaaS提供企業として新機能追加や新商品開発の推進に取り組みました。当社の重要な顧客グループである新車販売事業者においては、「新車の長納期化」時に受注したバックオーダーを引き続き消化している過程にあり、また人気車種に関しては引き続き年単位の納期の状態や受注停止状態となっています。新車販売台数の回復は「長納期化」以前の通常販売活動に戻ることを意味せず、販売促進ツールとなる当社商品の新規導入については期首想定よりも厳しいものとなりました。先行して原価をかけ、自動車販売事業者の要望に対応する商品を開発していますが、こちらも期首想定より収益化に時間が掛かっている状況です。

この結果、当期における当社グループの売上高は、856,782千円（前年同期比2.3%増）となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、293,545千円（前年同期比7.8%増）となりました。前年第1四半期においてMA関連費用や受注残に係る顧客関連資産償却費を計上していることが増加要因となっています。経常利益は320,195千円（前年同期比7.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は183,819千円（前年同期比2.4%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 前田 格

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2023年3月	2023年9月	増 減
流動資産	1,881	1,949	68
固定資産	2,103	2,197	94
流動負債	250	249	△0
固定負債	548	584	35
純資産	3,185	3,313	127
総資産	3,984	4,147	162

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2022年9月	構成比	2023年9月	構成比
売上高	837	100.0%	856	100.0%
売上総利益	696	83.2%	683	79.8%
営業利益	272	32.5%	293	34.3%
経常利益	299	35.8%	320	37.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	179	21.4%	183	21.5%

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

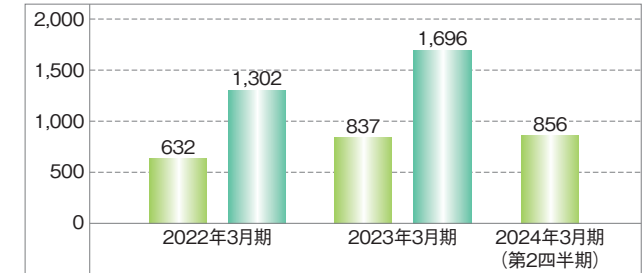
	2022年9月	2023年9月	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,977	1,659	△318
営業活動キャッシュ・フロー	277	274	△3
投資活動キャッシュ・フロー	△651	△71	580
財務活動キャッシュ・フロー	△176	△133	43
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,426	1,730	303

財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

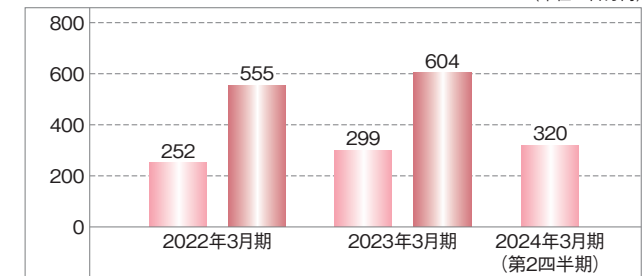
売上高

第2四半期 通期 （単位：百万円）



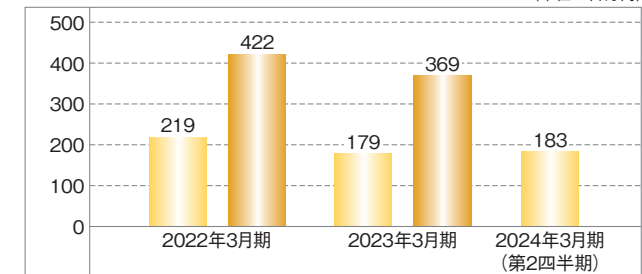
経常利益

第2四半期 通期 （単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

第2四半期 通期 （単位：百万円）



総資産／純資産

総資産(通期) 純資産(通期) 総資産(第2四半期) 純資産(第2四半期) （単位：百万円）

